

- 20年に1回程度の貯水では、標高が低い平場に土砂が堆積しやすい傾向が、大型の水理模型実験で確認。
- 対策として、施設の利用状況、自然環境や風景の観点から、平場造成の配置や形状について、関係者と協議し検討を進める。

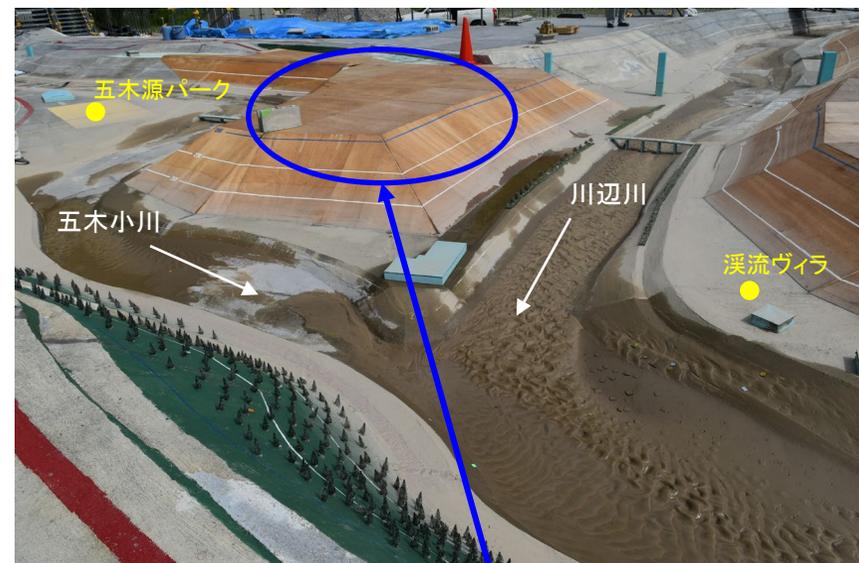
## 現地形



土砂(細かな砂)が堆積

河川内は評価できない

## 平場造成



平場の利活用については関係者と協議